

## 1. 集計結果

### ○回答数

- ・保護者による評価 23人（23人中）
- ・職員による自己評価 14人（14人中）

### ○実施期間

- ・2021年12月25日～2022年1月15日

### ○評価の数値状況

- \*別紙を参照

## 2. 分析・討議

### ○保護者による評価

- ・「活動場所の面積は適切であるか」は、「はい」が22人、「わからない」が1人ある。「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が23人ある。「子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊などがないようにされているか」は、「はい」が21人、「わからない」が2人ある。「たくさんの指導員に見守られ、安心している」「トイレの便器まで取り外して掃除していることにビックリしている」という意見もある。施設・設備の整備について、おおむね評価されている。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が22人、「わからない」が1人ある。「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が19人、「わからない」が4人ある。「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が21人、「わからない」が2人ある。「マスクをしていない子どもがいるので、少し心配」「発熱が前日あったら、休むように伝えてほしい」「到着時の検温などを」という意見がある。新型コロナウイルス問題について不安があることがうかがえる。子どもが発熱したときは、ただちに連絡して休所してもらうなど、事業所としての感染防止対策や保護者への協力願いについては、すでに書面などで保護者に伝えてはあるものの、感染防止対策に引き続き取り組みたい。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が23人ある。「子どもは活動を楽しみにしているか」は、「はい」が22人、「わからない」が1人ある。「異年齢児の散歩や屋内遊びをとおり、世話をしてもらい、興味を持って関わる姿が見られる」「長期休業中の活動はバスで、大きな公園などにも行けたらいい」「毎回、喜んで行く。学校より楽しみにしている」「散歩を何回もしてもらい、運動になる」「2つの事業所でお世話になっているが、カラーが異なり、おのおの楽しく過ごしている」という意見がある。活動内容について、おおむね評価されている。
- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意

見などを聞き取られているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会が  
つくられているか」は、「はい」が23人ある。「保護者の思いや願いを汲み取るた  
め、懇切に対応されているか」「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、  
改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が22人、「わからない」が1  
人ある。「希望者には対面での面談を行い、放課後デイ・学校・家庭での様子につ  
いて情報共有している」という意見がある。保護者との関係づくりについて、お  
おむね評価されている。

- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促した  
りされているか」は、「はい」が23人ある。「会報には、報酬改定のことや映画上  
映、分析・評価、活動報告、職員研修会、子どもの1日について掲載されている」  
「読み応えがあり、互いを知ることができる」という意見がある。会報について評  
価されている。
- ・「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されてい  
るか」は、「はい」が23人ある。「コロナ禍のたいへんな中、『ミカン狩り』企画  
はとても楽しかった」「きょうだいの会はぜひやってほしい」という意見がある。  
新型コロナウイルス問題のため、「きょうだいの会」は休止せざるをえなかった。  
親子行事は、屋外活動として「ミカン狩り」を実施したところ好評だった。
- ・「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつ  
くろうとされているか」は、「はい」が23人ある。「高校生の保護者から話を聞く  
会を企画していただき、たいへん参考になり、ありがたかった」「コロナで、ない  
が、大切なつながりの場だと思う」という意見がある。新型コロナウイルス問題  
のため父母会は休止されているが、再開への期待が込められている。

#### ○職員による自己評価

- ・「利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか」「指導員の配置人数  
は適切であるか」「子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故  
障などはないか」「ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらな  
いような対策をとっているか」などは、「はい」が14人ある。「飛散防止フィルム  
を貼っている」という意見がある。施設・設備の整備について評価している。
- ・「倫理綱領の策定、虐待防止委員会の設置、虐待防止責任者の選定をしているか」  
「虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっ  
ているか」「防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練  
を定期的に行なっているか」「感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感  
染症を予防するための研修を行なっているか」などは、「はい」が14人ある。活動  
の条件整備について評価している。
- ・「子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか」  
は、「はい」が14人ある。「責任者に報告・相談し、対処の仕方を考えている」と  
いう意見がある。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、早わかりしようとせず、(どうしてなの  
か)と、自らに問い続けているか」「子どものことがわからないと感じたとき、独  
りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか」「子どもの“問  
題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、  
内面を探ろうとしているか」は、「はい」が14人ある。「子どものことがわからな

いと感じたとき、傍観するのではなくて、働きかけて変化をつくりだし、理解しようとしているか」「子どもの“問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか」は、「はい」が13人、「わからない」が1人ある。「(どうしてか?)と考えることで、その子の内面に近づける気がする」「“問題行動”と見える行動でも、その中にその子の本当の願いが屈折した形で表れているものとして、(どうしてだろう?)と考えるようにしている」という意見がある。子ども理解について、おおむね評価している。

- ・「気持ちの育ち（人格の形成）には、その子固有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか」「学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか」「遊びや生活をつうじて、子どもの気持ちの育ち（人格の形成）をはかっていくことを意識して、子どもに働きかけているか」などは、「はい」が14人ある。「子どもの表面的な事がらを並べるのではなくて、働きかけて、肯定的な事実をつくりだし、それを意味づけようとしているか」は、「はい」が11人、「わからない」が3人ある。「子どもの発達、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか」「大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が13人、「わからない」が1人いる。子どもの人格形成への働きかけについて、おおむね評価している。難しい課題なので、反省的に振り返る職員もいる。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が10人、「わからない」が1人、「いいえ」が3人ある。新型コロナウイルス問題が反映しているだろう。とは言え、「放課後連・東京の学習集会（オンライン）に参加している」という意見もある。
- ・「子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか」「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか」「保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか」などは、「はい」が14人ある。「保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか」は、「はい」が12人、「わからない」が2人ある。「保護者が自主的に作る父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか」は、「はい」が13人、「わからない」が1人ある。保護者との関係づくりについて、おおむね評価している。
- ・「障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか」は、「はい」が13人、「わからない」が1人ある。「学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか」「学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか」「学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか」などは、「はい」が14人ある。関係者・関係機関との連携について、おおむね評価している。

### 3. 改善目標

#### ○保護者による評価

- ・おおむね、高い評価となっている。子どもが安心して通え、豊かに育つ場として、

実践内容の向上に引き続き取り組みたい。

- ・新型コロナウイルス問題への不安を持つ保護者がいることがうかがえる。新型コロナウイルス感染防止対策に引き続き取り組むとともに、その実施状況を保護者に伝えることにいっそう努めたい。
- ・新型コロナウイルス問題のため、保護者会や父母会（保護者の自主的な活動）などが十分に行なわれていない。保護者に活動の様子を伝えたり、保護者同士が交流したりする機会をどうつくるかを検討していきたい。

#### ○職員による自己評価

- ・おおむね、高い評価となっている。子どもの行動の内側には、その子の本当の願い・悩みが込められているという、子ども理解をさらに深めていきたい。遊び・生活の中で対人関係が育っていく実践をいっそう豊かに展開していきたい。
- ・新型コロナウイルス問題のため、外部の研修会への参加が難しい。オンラインによる研修会が増えているので、そこへの参加を呼びかけていきたい。

#### 4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2022年2月より）

○ホームページへの掲載（2022年2月より）